

各位

会計事務所のリスクマネジメントをバックアップ!

ファルクラム 第31回 租税法研究会



～相法7条「著しく低い価額の対価」・非課税となる「境内地」等の意義～

不確定概念の理解は実務家を悩ます問題です。そこで、今回は、相続税法7条の「著しく低い価額の対価」という不確定概念について、株式売買契約事案を素材として考えてみたいと思います。

そして、宗教法人が所有する不動産のうち動物の遺骨を収蔵保管している建物部分及びその敷地相当部分は固定資産税及び都市計画税の非課税対象に該当するとされた極めて有名な事例（回向院事件）を素材として、租税法における用語の意味はどのように理解すべきか、宗教法人活動と租税法の関係について考えてみたいと思います。

◆日時：2014年1月25日(土) 14:00～16:30

◆参加費：一般 30,000円(ファルクラム会員無料※1事務所2名まで)

◆お試し参加：無料(※1事務所につき1回のみ無料でご参加いただけます。)

◆会場：ハロー貸会議室神田 (千代田区内神田3-18-2 神田アドミラルビル3F/JR・地下鉄神田駅より徒歩3分)

講師：ファルクラム代表理事 国土館大学法学部教授 酒井 克彦

【内容】

- 贈与税課税の基因となった株式の売買契約が成立していると認められるとして、相続税法7条を適用した決定処分が適法とされた事例—東京高裁平成19年10月31日判決—
 - 宗教法人法3条の「境内建物及び境内地」に該当するとして賦課処分が取り消された事例（回向院事件）
—東京高裁平成20年1月23日判決—
- その他、グループ討議によるディスカッションを実施します。

◆主催：一般社団法人ファルクラム

(HPをご覧ください <http://www.ful-crum.info/>)

所在地：〒154-0017 世田谷区世田谷 4-14-24-504

【次回のご案内】

ファルクラム第32回租税法研究会

◆日時：4/12(土) 14:00～16:30

◆会場：都内会場を予定

研究員(会員事務所)募集

(DVD会員・YouTube会員の募集)

租税法研究会・学習用DVDを通じて、事務所のリスクマネジメントを図りましょう。

租税法研究会とは：

租税法研究会は、いわば大学院のゼミのようなスタイルで、会員と講師(酒井克彦教授)により行われる裁判例を素材にした発表を基に、会員と講師を交えてディスカッションをしながら、実務家としてどう考え、対処すべきかという視点で理論的・実務的に検討を行う研究会です。条文の読み方、判例の読み方、法律的主張の構成を学び、リーガルマインドの養成を図ります。

会員特典(一部のご紹介)：

- ★租税法研究会の無料参加(年8回開催)
- ★公開セミナーの無料参加(昨年4回開催)
- ★毎月1回の学習用講義DVD(酒井克彦教授のオリジナル講義DVD。40～60分程度)
- ★租税法研究会欠席時のDVD無料送付

通信ファルクラム制度のご紹介：

★租税法研究会・学習用講義をDVD又はYouTubeで受講する制度です。詳細については事務局までお問い合わせください。

◆お申込方法 以下の必要事項をご記入の上、FAXにてご返信ください。

ご芳名		事務所名	
ご住所	会員の方はご芳名・TEL・参加者名のみ記載で結構です。		
TEL		FAX	
E-mail		お試し参加希望	<input type="checkbox"/> (√チェック)
参加者名			

お問い合わせ：一般社団法人ファルクラム (E-mail: jimu@ful-crum.info) 03-5799-4588 (9～17時) 土日祝除く



お申込みFAX番号: 03-5799-4597 (随時受付)

<送信前にFAX番号を再度、ご確認ください。>